

教育課程論	2年・前期	2単位	講師 堤ひろゆき
科目カテゴリー	教職科目	科目ナンバリング	36311282

1. 授業のねらい・概要

現在の学習指導要領の特徴とそこで目指されている学校教育像を理解したうえで、現代のさまざまな教育問題に対して学校教育が果たすべき役割について、具体的なカリキュラム開発の方法論に基づく考察を行えるようになることを目指す。そのため、教育課程の意義と役割および現代的課題を概観した後、教育課程編成の方法論や学習指導要領の歴史的変遷について解説する。基礎的な知識と概念の修得を進めつつ、実際の事例に基づいて、カリキュラムについての理解を深め、自身の言葉でも表現できるようになる。

2. 学修の到達目標

教育課程を編成するための方法論や教育評価のあり方、学習指導要領の変遷と現在の学習指導要領の特徴などを十分に理解したうえで、現代のさまざまな教育問題について、教育課程という観点から考察できるようになることが本講義の到達目標である。

3. 授業の進め方

レジュメおよび参考資料を配布し、基本的には講義形式で進めていく。また具体的な教育実践を扱った映像資料や文献などを紹介し、その内容について受講者全員で議論する時間も多く設けたい。

4. 授業計画（講義）

1. 教育課程の意義と役割 2. 現代の教育問題と教育課程①：学力とは何か 3. 現代の教育問題と教育課程②：教師の専門性 4. 学習指導要領の変遷①：戦後から現在まで 5. 学習指導要領の変遷②：ゆとりと学力 6. 2008年学習指導要領の特徴 7. 教育課程編成の基礎理論 8. 2017年学習指導要領の特徴	9. 教育課程編成の方法①：基本方針と編成上の留意点 10. 教育課程編成の方法②：教育課程実施上の課題 11. 教育課程の評価方法 12. 潜在のカリキュラムと学校文化 13. 教育課程編成の現代的課題 14. 教育課程編成の実際と事例検討 15. 講義のまとめ
---	--

5. 成績評価の方法・基準

受講態度・講義中の小レポートなどによる平常点（30%）、期末試験（70%）の成績を総合的に加味して評価する。

6. テキスト・参考文献

テキスト：文部科学省（2017）『中学校学習指導要領』、文部科学省（2017）『中学校学習指導要領解説 総則編』、文部科学省（2017）『高等学校学習指導要領』、文部科学省（2017）『高等学校学習指導要領解説 総則編』（文部科学省のサイトよりダウンロード可能）。ただし、改訂された場合は最新のものとする。

参考文献：講義時に配布する。

7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な学習内容

毎回の講義を受講する前に、前回の内容を復習しておく。さらに、毎日これまでの講義内容と関連するニュースを探し、読んでおく。なお、これらの準備学習には2時間以上を要する。

8. 受講上の留意事項

現実の教育との関連を意識し、常に最新の情報に目配りするとともに、明確な目的意識をもち、教職に就くことを強く希望する学生の受講を望む。

9. 課題に対するフィードバックの方法

試験前に解答のポイントを説明する。試験後には講評を公開する。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

養護教諭第一種免許状取得の必修科目である。

11. 実務経験のある教員等による授業科目

該当しない。